

今月の3冊 プラス +1



令和8年版 看護白書

看護の将来ビジョン 2040

—— 2040年を見すえ、看護はどうあるべきか

編：公益社団法人日本看護協会

発行：日本看護協会出版会

定価：4620 円（本体 4200 円＋税 10%）

看護界の最新・最重要のデータと情報を発信する『看護白書』。今版では、高齢者人口がピークを迎えるとされる「2040 年」を基準に新たに策定された「看護の将来ビジョン」を特集。その策定背景や概要、ビジョン達成に向けた日本看護協会の活動を解説するとともに、ビジョンを踏まえて現場はどう取り組みればよいか、好事例を紹介しつつ考察する。



認知症の人と家族のつどいがうまくいくためのファシリテーション技術

編集：公益社団法人認知症の人と家族の会

発行：中央法規

定価：2200 円（本体 2000 円＋税 10%）

認知症本人や介護家族を支援するために、「つどい（交流会）」は有効であり、機会も多いが、その成否はファシリテーション（進行）にかかっていると言っても過言ではない。認知症支援におけるつどいの進め方のコツ、困難事例への対応などを具体的にアドバイスし、ファシリテーションを実践的に学べる工夫を盛り込んでいる。



批判的实在論入門

複雑な世界を説明するためのクリティカル・リアリズムの考え方

監修：佐藤春吉

編：桂 悠介、梶原はづき、菅井俊輔

発行：ナカニシヤ出版

定価：3850 円（本体 3500 円＋税 10%）

なぜその事象は生じたのか。本書は実証主義と構築主義（解釈主義）を架橋する第三の認識論的立場である批判的实在論（Critical Realism）の基本的な考え方や諸概念などを、丁寧に解説する。英米圏を中心に社会科学、看護学など多様な学問領域で広まりつつあるメタ理論についての日本の研究者による初の本格的入門書。

手軽な
+1



「もしも」で命は救えるか？ 因果推論入門

著：井上浩輔 発行：光文社

定価：1056 円（本体 960 円＋税 10%）

因果推論とは「原因と結果のつながりを正しく見抜くアプローチ」。現実世界では一人の人に対し一つの選択肢しか観察できないが、「観測できないもう一つの結果」をデータを用いてさまざまに比較することで、因果関係をより正確に調べることができる。本書では具体的な研究事例を紹介しながら、「もしもの世界」を通じて因果関係の捉え方をわかりやすく解説。健康情報との付き合い方や次世代医療のあり方についても考える。